



当館は須田国太郎の常設展示館として、作品だけでなく愛用していた遺品などの関連品を、幅広く収蔵しています。本展では、当館所蔵の須田作品と関連資料を一堂に会し、そのあゆみを紹介します。

須田国太郎（1891-1961）は京都生まれ、京都帝国大学（現・京都大学）で美学・美術史を専攻しました。「写実主義」や「絵画と理論と技巧」をテーマに研究に励み、そのテーマに関連して19歳頃から独学で油絵を始めます。また、同時期に能（金剛流）の謡（うたい）を習い始め、晩年まで続けました。その後、関西美術院でデッサンを学び、28歳の時、古典絵画の研究のためスペインを拠点に4年間留学。ブラド美術館での模写などを通して、油彩画の実践と、歴史や美学などを研究しました。帰国後は、美術史の講師をしながら制作を続けていましたが、41歳で初めて開いた個展を機に画壇デビューを果たします。

画家としてだけでなく美術史家としても活躍した須田は、油彩画以外にも日本画、陶芸、謡などさまざまな芸術分野に目を向け、その画題も、風景や人物、動物や身近な花など多岐にわたります。

本展では、須田の油彩画作品をはじめ、水彩画や日本画、陶器のほか、能を鑑賞した際、その動きの瞬一瞬を素早くとらえたスケッチも展示します。また、須田が常用した画材や、留学の際に使用したトランクなどの遺品もあわせて紹介します。



1.「紅薔薇」油彩・キャンパス 1942年 2.「猛禽」紙本墨画淡彩 1946年
3.「盛久」鉛筆・紙 1951年 4.「輪廻」鉛筆・紙 1951年 5.6.「舟田川」鉛筆・紙 1951年



2

6



広島市内から車で約60分

呉市内より国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋（有料）を渡った最初の島が下蒲刈島です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用できます。

指定除額にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の雨りの通行券を少量！詳しくは、くれ観光情報プラザTEL.0823-23-7845まで

広島市内からバス利用の場合

広島バスセンター（6番のりば）から、さんようバス運行の蒲刈・豊浜・豊線「沖友天満宮前行」バスに乗車し「下蒲刈中学校」を下車。または「見戸代」下車後、接続のバスへ乗り換え「三之瀬」を下車。

呉市内から電車・バス利用の場合

JR 呉線で広島駅または仁方駅を下車。駅前バス停から瀬戸内産交運行の「宮島センター・沖友天満宮行き」バスに乗車。「下蒲刈中学校」または「三之瀬」で下車。バスは上下線とも毎時1本運行しています。[バスに関するお問い合わせ：瀬戸内産交（株）TEL.0823-70-7051]

三之瀬御本陣芸術文化館



Instagram Facebook



QRコードからアクセスできます！

新型コロナウイルス感染予防に関するお客様へのお願い

- 発熱や軽度でも咳・のどの痛みなどの症状がある場合は、ご来館をお控えください。●ご入館の際は、マスクの着用とアルコール消毒をお願いします。
- 入館時の検温にご協力下さい。●新型コロナウイルス感染状況によっては、今後予定しております展覧会の変更または臨時休館をする場合がございます。最新の情報は、HPをご覧ください。●HPをご覧ください。●当館にお問い合わせください。